

# さんぺい

輝枝

ニュース

千葉市議会議員  
(花見川区選出)

136号



未来立憲民主ちば会派

事務所 〒262-0025  
千葉市花見川区花園1-20-14

TEL 043-299-1101 http://www.sanpei-terue.jp/  
FAX 043-299-1104 sanpei3@d3.dion.ne.jp

ニュース令和4年9月発行 Vol.1

皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

## 市民が懸念している課題について



## 緊急事態に関する国会審議を 求める意見書には反対!!

# 賛成28 対 反対21



### 7票差で可決されてしまいました。(未来立憲民主ちば)

## 反対理由

既にこれまで国会の憲法審査会で立憲民主党所属議員は「憲法に緊急事態をいれると、一時の緊急事態に収まらず、長きに渡って国民の権利を侵害し兼ねない事が、懸念されるので憲法に緊急事態を入れなくていい。」という趣旨の内容が発言されています。

続けて「①大震災は災害対策基本法があります。②新型コロナウイルスはインフルエンザ対策特別措置法があります。③心配される他国からの日本への攻撃については、武力攻撃事態等・存立危機事態対処法や自衛隊法、国民保護法がありますので、これらの個別の法律で(緊急に)対応できます。」との立憲民主党国会議員の発言をふまえて、この意見書に反対しました。

今後、市民の皆様のご意見を拝聴させていただきます。

## 自民党会派から提出された意見書

### 緊急事態に関する国会審議を求める意見書

新型コロナウイルス感染症は、長期にわたって全国各地で拡大し大きな被害をもたらしてきた。この間、中小企業の経営に深刻な影響が及び、日本経済に大きな打撃を与えている。さらに医療従事者や病床が不足するなど、医療崩壊の危機を招くという想定されなかった事態が発生した。

また、東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)の際には、道路をふさぐ震災がれきの撤去の遅れにより支援物資の輸送にも遅れが発生したほか、被災地方自治体の行政機能停止も問題となった。さらに今後30年以内に高い確率で「首都直下地震」や「南海トラフを震源とする地震」の発生が予想されている。

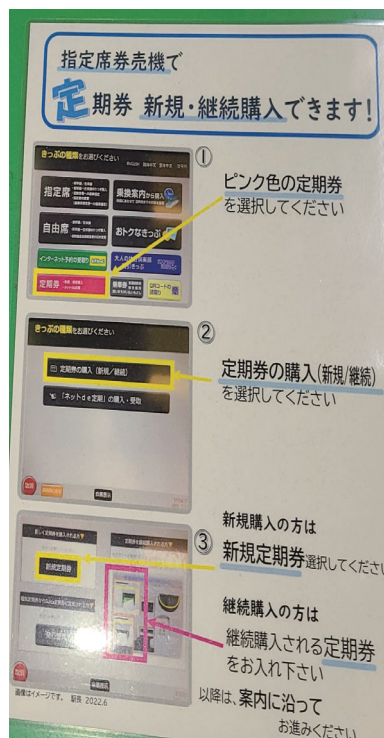
これまで我が国は、大震災や感染症その他の異常かつ大規模な災害に対して、災害対策基本法や新型インフルエンザ等対策特別措置法などによって対処してきたが、憲法にはこのような緊急事態に対応するための規定がないことから、多くの課題を残してきた。

国家の最大の責務は、緊急時において国民の命と生活を守ることにある。緊急時に国民の命と生活を守るための施策と法整備さらには根拠規定たる憲法について国会が建設的な議論に取り組むことを、国民は期待している。

よって、本市議会は国に対し、緊急事態に対応できる国づくりに向け、緊急時における憲法のあり方について建設的かつ広範な議論を行うとともに、国民的議論を喚起するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
令和4年6月24日 千葉市議会

## ●改善できました。 JR定期券のクレジット 券売機ネット予約について



一般質問で取り組み交通政策課も熱心に取り組んで頂き、合わせてJRのご協力も頂くことができました。

新検見川駅も含めてクレジットによる定期券売機の数が減ってしまう等により、券売機が大変混んで困るとのご意見を頂き、一般質問で取り組みました。半年ほど時間が掛かり、券売機を増やすという事は叶いませんでしたが、券売機の所にクレジット購入の時にはスマホ等により、事前に操作をして頂いて、券売機で、操作が省ける分、スピーディにクレジット購入ができる案内板を設置してもらう事が出来ました。市民の方々のお役に立てれば幸いです。